

主要事業評価シート(第2次実施計画 / R1・2・3年度)

基本事項	計画コード	事業名		部名	産業建設部	
	17016	都市計画道路整備事業(野村布気線)		課名	土木課 施設整備G	
	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上		財務科目	会計	01:一般会計
	基本施策	04:道路の保全・整備			款	08:土木費
	施策の方向	01:幹線道路の整備			項	02:道路橋梁費
戦略プロジェクト	03:「JR亀山駅周辺拠点力向上」プロジェクト		目		03:道路新設改良費	
事業予定期間	H 18 ~ R 1 年度	主な根拠法令要綱等	道路法、道路構造令			

目的・概要	対象	市民及び来訪者
	目的	県道亀山関線と併せ、亀山市街と関地区を結ぶ幹線道路となる当路線を整備することで、生活の利便性や防災機能を向上させるとともに、産業活動や地域間交流の促進を図る。
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・施行延長 L = 900m ・幅員16m(2車線、両側歩道) 	

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
年度計画	年度計画	工事(野村布気線交差点部)			
	年度実績	○工事(野村布気線交差点部)			
事業の計画・実績	計画額	事業費	15,000千円		
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債	14,200千円		
		その他			
	予算額	事業費	180,171千円		
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債	171,100千円		
		その他			
	決算額	事業費	178,730千円		
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債	166,500千円		
		その他			
人件費	一般財源	800千円	0千円	0千円	
	総人件費	8,634千円	0千円	0千円	
	一般職員	8,634千円	0千円	0千円	
	所要人員	1.10			
		会計年度任用職員等	0千円	0千円	0千円
総コスト(+)		187,364千円	0千円	0千円	
受益者負担率		0.0%	0.0%	0.0%	

			令和元年度	令和2年度	令和3年度
指標	名称	整備進捗率	計画値	100	
		実施済み事業費/総事業費	実績値	100	
			単位	%	
	名称		計画値		
			実績値		
			単位		
	名称		計画値		
			実績値		
			単位		

事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 整備区間の全線供用開始に向けて残工事を早期に完成する必要がある。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 早期に残工事を完成させる為、工程調整を行い、的確に対応し、適時適切に進めた。

		評価	(判定)
事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 昨年度から繰り越した道路改良工事及び野村布気線と落針道野線の交差する交差点部工事の完成を終え、全線供用開始することが出来た。	A 計画どおり実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 全体工事が完成し、全線供用開始が図れたことにより、移動時間の短縮、安全性の向上、交通の円滑化等の成果が発現される。	A 十分な成果を得た

今後の対応方針	課題	【課題は何か】 今後の新たな道路改良工事においても、工事施工に伴う関係機関との協議に不測の期間を要することで、工事進捗に遅れが生じることがある。	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> その他 【その他の場合、その内容を記載】 令和元年度で事業完了
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 今後の新たな幹線道路改良においても、事業工程を十分に精査した上で事業の進捗に努め、適時的確に進めていく。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 幹線道路改良区間を計画的に完成させ、供用開始することで、生活の利便性や防災機能を向上させるとともに、産業活動や地域間交流の促進が図れる。	
	対応時期	-	

【1次評価者】	産業建設部 土木課 施設整備グループリーダー 村田 和隆
【最終評価者】	産業建設部 土木課長 宮崎 伸二

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	A	B	A		
	成果	B	B	A		

令和元年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		180,171 千円
内訳	平成30年度からの繰越額	165,171 千円
	令和元年度の最終予算額	15,000 千円
	令和2年度への繰越額	千円